

## 国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	フェンシング選手におけるCOVID-19による緊急事態宣言下での体組成変化：フィットネスチェック及び段階的プログラムでの体組成データを用いて
倫理審査委員会承認番号	2021-010
研究開始日	2021年4月30日
研究終了日	2022年3月31日
研究目的	定期的にJISSにて体組成測定を実施している日本人トップフェンシング選手を対象に、測定された体組成データを活用し、フェンシング選手におけるCOVID-19による緊急事態宣言下での体組成変化を明らかにすることとしています。
研究対象者	JISSが実施しているフィットネスチェック及び段階的プログラムに参加したフェンシング選手43名（男性22名、女性21名；18-36歳）※段階的プログラム：COVID-19拡大防止のための措置に伴う活動制限期間からスポーツ活動を段階的なプロセスを経て再開するためのプログラム
研究概要	本研究は人体から採取された試料・情報を用いず、既の実施済みの測定データを用いた観察研究です。緊急事態宣言解除後に実施した段階的プログラムでの測定（2020年6月）から遡り、直前の2019年10月のフィットネスチェック、その1年後のフィットネスチェック（2020年10月）のデータを用い、COVID-19による緊急事態宣言下での体組成変化を検討します。本研究では、対象者特性として年齢、競技種目（エペ、フルーレ、サーブル）、性別、身体特性として身長、体重、除脂肪量、体脂肪量のデータを用います。本研究はトップフェンシング選手における、COVID-19を原因とした不活動が体組成変化に及ぼす影響を明らかにする、本邦初の研究となります。また、本研究結果は通常とは異なる環境における身体作りに資するデータとなることから、アスリートに限らず、COVID-19下で運動機会が制限されている一般のスポーツ愛好者（＝国民）の健康な身体作りにも寄与すると考えています。
研究に用いる情報の種類	基礎情報（氏名、年齢、競技種目、性別）、客観的情報（身長、体重、除脂肪量、体脂肪量）
情報の提供先	
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	○本研究の資金源は、JISS内予算です。 ○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	安田純・スポーツメディカルセンター
研究分担者	近藤衣美・日本学術振興会 高井恵理・スポーツメディカルセンター 枝伸彦・獨協医科大学 東泰之・スポーツメディカルセンター 元永恵子・スポーツ研究部 土肥美智子・スポーツメディカルセンター 亀井明子・スポーツメディカルセンター
問合せ先	安田純・スポーツメディカルセンター 電話：03-5963-0215 E-mail：jun.yasuda@jpnsport.go.jp